

佐倉市在宅医療・介護多職種連携研修会



コロナ禍における退院支援

～居宅介護支援事業所へのアンケート結果より～

令和3年2月18日

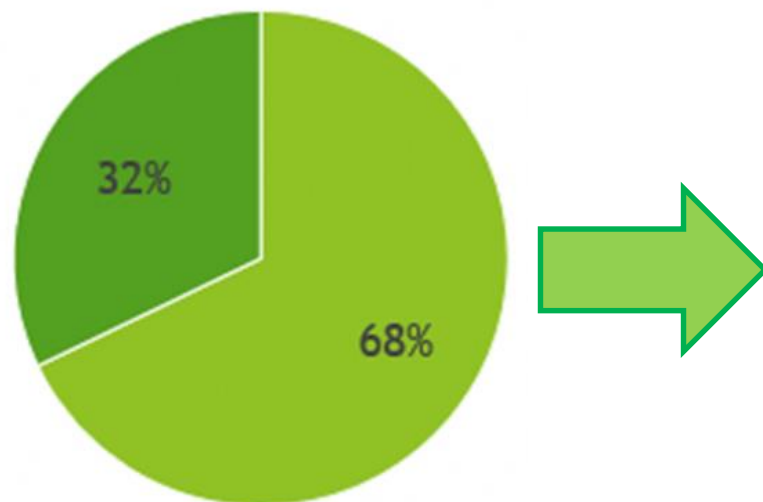
佐倉地域包括支援センター
南部地域包括支援センター

アンケート配布先・主な内容

佐倉市 居宅介護支援事業所 53事業所
⇒ 回答数 28事業所

- コロナウイルス感染症に伴う退院支援への影響内容
- 医療・介護連携を行うための手段・情報について
- 医療・介護連携に求める内容 など…

Q:新型コロナウイルス感染症の影響により
退院支援に影響が出ていますか？

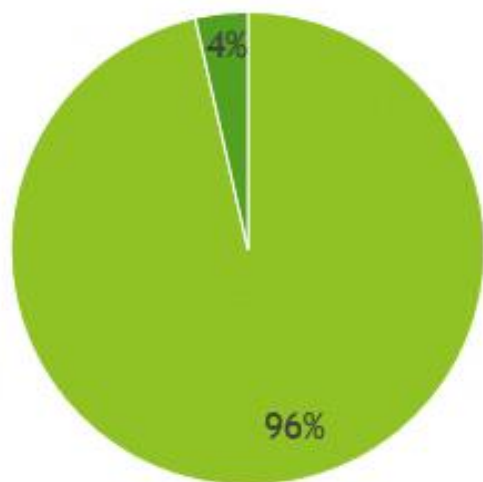


■ はい ■ いいえ

面会ができない
現状が把握しにくい

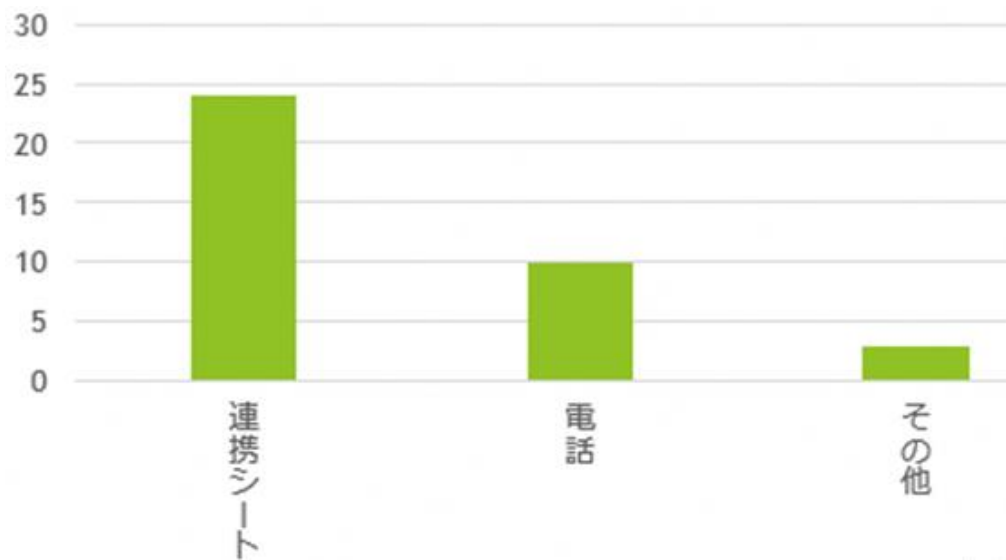
「はい」と答えた事業所が68%にのぼり、
7割弱で退院支援に影響が生じている。

Q:入院時に退院後の在宅支援を踏まえて 病院に情報提供を行っていますか？



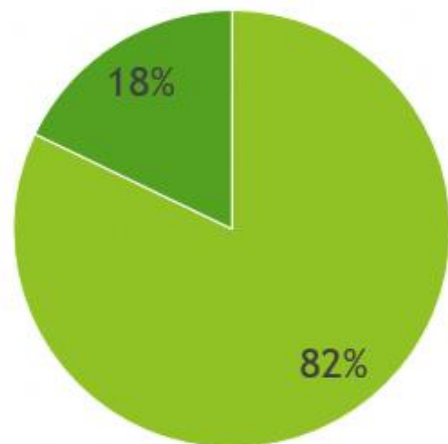
■ はい ■ いいえ

情報提供の方法

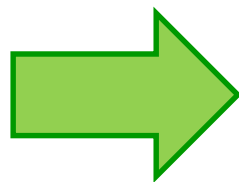


入院時にケアマネジャーから医療機関に
情報提供が行われている。

Q: 家族が入院中の本人の状況や意向を
把握できていないケースはありますか？



■ はい ■ いいえ



面会ができない
現状が把握しにくい



家族も本人の現状把握が十分でない状況が分かった。

Q:退院後の在宅支援に向けて
どのような情報がほしいですか？

- ・ADL・身体状況
- ・入院中の経過
- ・服薬内容
- ・排泄・入浴状況
- ・食事摂取状況 など・・・

多くのケアマネジャーが
ADLの情報がほしいと
答えていた

地域生活連携シートや看護サマリーには、ADLや服薬情報・
入院後の経過や食事状況などは項目として挙がっている。

アンケートの結果より・・・

- ケアマネジャーがほしい情報は連携シートに盛り込まれている。しかし・・・



本人の状況が分かりにくい

状況確認が難しい

病院から聞いていた内容より身体状況が悪くてびっくりした



退院後の在宅支援に向けて、ケアマネジャーが医療機関側に求めている情報と、医療機関がケアマネジャーに提供している情報とで「内容のずれ」が生じている可能性。

求める情報に「ずれ」が生じている要因

- これまで退院支援の際に本人に面会し、状況を直接確認できたことで情報のズレをカバーできていたが、コロナ禍で面会ができないことで情報にズレが生じているのではないかと？

アンケート
より



連携シートの書き方 いつも書きながら「医療機関が必要とする内容が書けているのか」心配になる。役に立つ情報を提供したい。

アンケートの結果より考えられること

医療側

- コロナ禍の影響で家族やケアマネジャーと面会できない。
- 家屋調査ができない。



入院前の生活状況・住環境の十分な把握が難しいため、入院中の状況(病棟ADL)しか情報シートに書けない。



入院前の生活状況・住環境など医療側が求める情報をケアマネジャーから確認し、提供してもいいのではないか。

アンケートの結果より考えられること

- 利用者が安心して在宅で生活するために、ケアマネジャーが医療側に求める情報があるように、医療側にもケアマネジャーに求める情報があると思われる。
- どちらが・・・ではなく、医療側・介護側の立場になって連携先と信頼関係を築き、今まで以上に連携を図っていく必要があると思う。
- コロナ禍が続く今、これまでの顔の見える関係づくりをさらに深め、メールやZOOMなどのICTを活用していく必要があるのではないか。

ご清聴ありがとうございました。

**ご多忙の中、アンケートにご協力くださり
有難うございました。**

**皆様のご健勝とご活躍を、
心よりお祈り申し上げます。**